

# 2020年度 決算説明資料

---

2021年5月11日

出光興産株式会社

# 決算サマリー

## ■ 2020年度決算 概要

- ✓ 20年度の営業＋持分利益（以下、セグメント利益）は、原油価格上昇による在庫影響の改善等から黒字転換
- ✓ 在庫影響を除くセグメント利益は、燃料油セグメントにおけるタイムラグの改善が寄与し、前年比297億円の増益
- ✓ NSRPに対する長期貸付金評価損失181億円を計上したものの当期純利益は579億円増益

[億円]

	19年度	20年度	増減
営業＋持分利益	▲ 262	1,003	+1,265
(在庫影響)	(▲ 893)	(75)	(+967)
(在庫影響除き)	(631)	(928)	(+297)
当期純利益	▲ 229	349	+579
(在庫影響除き)	(390)	(297)	(▲93)

## ■ 2020年度配当

中間配当 **60円** 期末配当 **60円** 年間配当 **120円**

※ 前回公表から変更なし

# 決算サマリー

## ■ 2021年度 業績見通し 概要

- ✓ セグメント利益は、資源価格の回復、20年度の電力・再エネセグメントにおける一過性損失の解消などから前年比397億円の改善を見込む
- ✓ 当期純利益は前年度の特別損失の反動等から前年比501億円の増益を見込む

[億円]

	20年度	21年度	増減
営業 + 持分利益	1,003	1,400	+397
(在庫影響)	(75)	(0)	(▲75)
(在庫影響除き)	(928)	(1,400)	(+472)
当期純利益	349	850	+501
(在庫影響除き)	(297)	(850)	(+553)

※21年度は原油及び為替が前提条件通りに安定的に推移した場合、一定のプラスの在庫影響を見込むものの、当該見直しには未織込みです。

## ■ 2021年度株主還元方針・配当予想

- ✓ 2020~22年度3ヶ年累計の在庫影響除き当期純利益に対し、総還元性向50%以上の株主還元、1株あたり120円の安定配当を実施する方針
- ✓ 上記に基づき21年度の配当予想は1株当たり120円とする  
(中間配当 **60円** 期末配当 **60円** 年間配当 **120円**)

# トピックス（2020年度）

## ■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響

- ✓ 燃料油需要をはじめ、石化製品マージン縮小などの影響が年度を通じ顕在化

## ■ ベトナム ニソン製油所関連

- ✓ 製油所稼働は安定操業を継続
- ✓ 2020年度の持分法投資損益は概ね前回予想で見込んだ水準となった
- ✓ 同社に対する長期貸付金の回収可能性を判定した結果、181億円の評価損失（特別損失）を計上  
この結果、当社がNSRPに対し、当初拠出した出資金・長期貸付金残高は減少

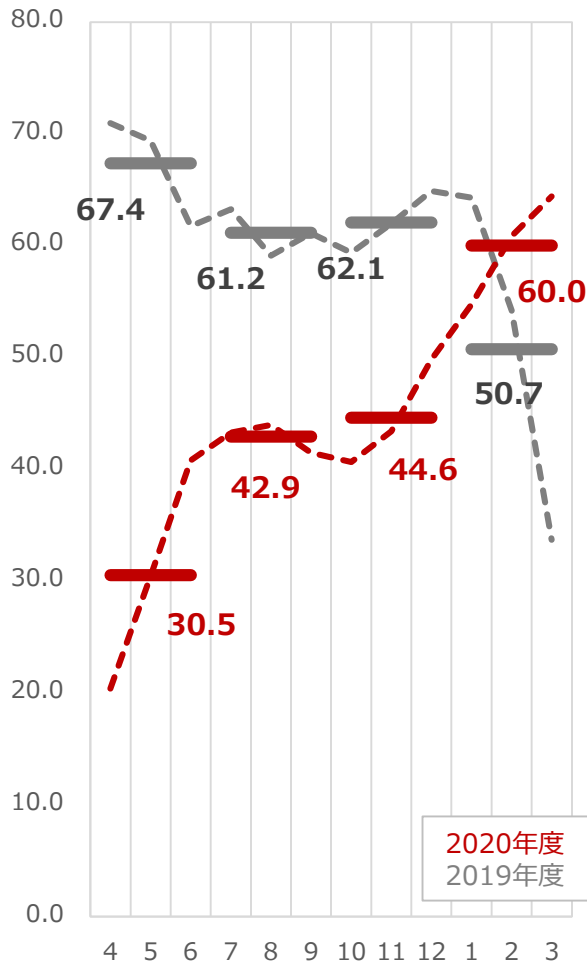
## ■ 資本準備金の減少及びその他資本剰余金への振替

- ✓ 今後の株主還元政策の柔軟性・機動性を高めることを目的として、資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振替えることにつき6月23日開催の定時株主総会へ上程する
- ✓ 当社の資本準備金の金額4,581億円のうち4,160億円を振替え予定

# 事業環境

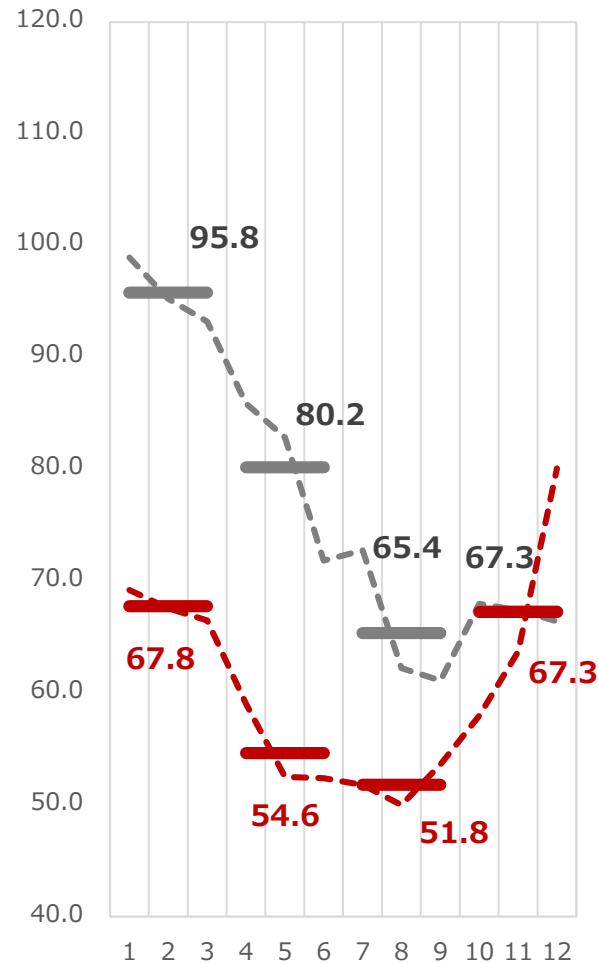
## ドバイ原油価格

[USD/バレル]



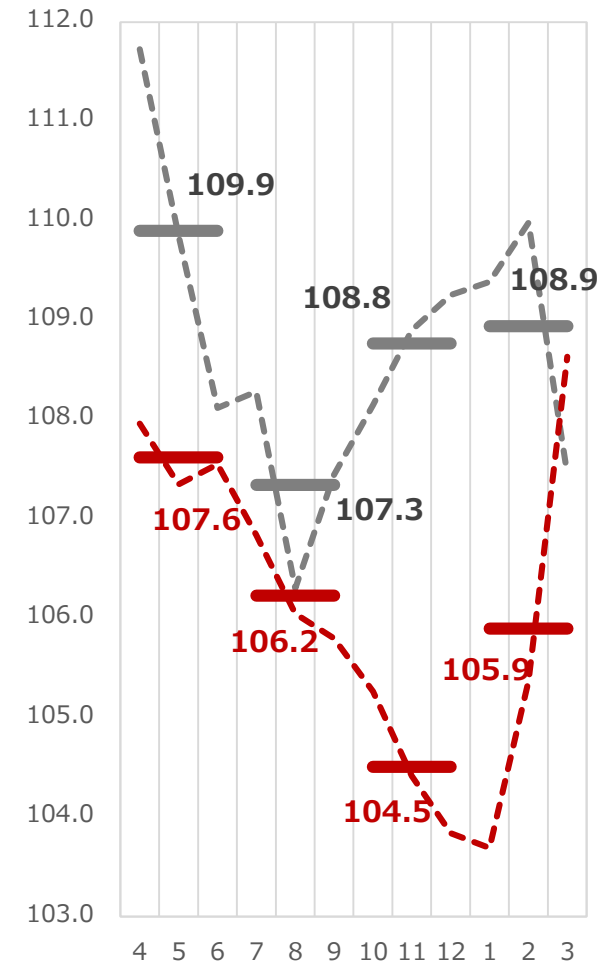
## 豪州一般炭スポット価格

[USD/トン]



## 為替レート(USD)

[円/USD]



# 決算概要

## ■ 原油、石炭価格および為替レート

[USD/バレル、USD/トン、円/USD]

	19年度	20年度	増減	
ドバイ原油価格	60.3	44.5	▲ 15.8	▲ 26.2%
ブレント原油価格*	64.3	41.7	▲ 22.6	▲ 35.2%
豪州一般炭スポット価格*	77.8	60.4	▲ 17.4	▲ 22.3%
為替レート	108.7	106.1	▲ 2.6	▲ 2.4%

\*ブレント原油価格及び豪州一般炭価格は1-12月平均

## ■ 連結損益計算書ハイライト

[億円]

	19年度	20年度	増減	
売上高	60,459	45,566	▲ 14,892	▲ 24.6%
営業利益	▲ 39	1,401	+1,439	—
(内 在庫評価損益)	(▲893)	(75)	(+967)	—
持分法投資損益	▲ 224	▲ 398	▲ 174	—
<b>営業+持分</b>	<b>▲ 262</b>	<b>1,003</b>	<b>+1,265</b>	<b>—</b>
<b>(在庫影響除き)</b>	<b>(631)</b>	<b>(928)</b>	<b>(+297)</b>	<b>(+47.2%)</b>
経常利益	▲ 140	1,084	+1,223	—
特別損益	▲ 33	▲ 438	▲ 405	—
<b>当期純利益</b>	<b>▲ 229</b>	<b>349</b>	<b>+579</b>	<b>—</b>
<b>(在庫影響除き)</b>	<b>(390)</b>	<b>(297)</b>	<b>(▲93)</b>	<b>(▲23.8%)</b>

# セグメント別情報

## ■ 営業利益 + 持分法投資損益

[億円]

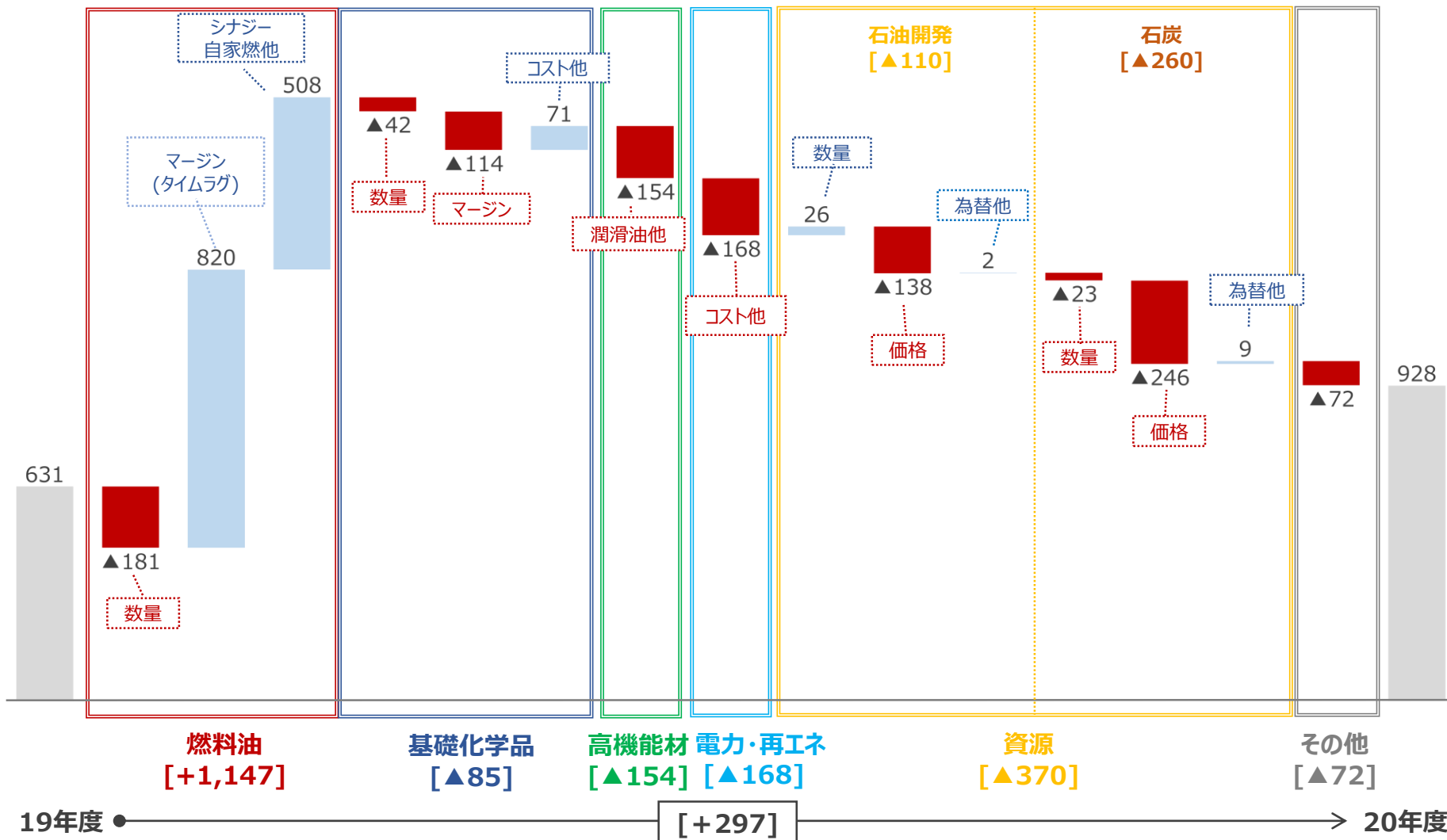
	19年度	20年度	増減	
燃料油 (在庫影響除き)	▲ 1,094 (▲ 201)	1,021 (947)	+2,115 (+1,147)	－ －
基礎化学品	119	34	▲ 85	▲ 71.5%
高機能材	284	130	▲ 154	▲ 54.3%
電力・再生可能エネルギー	▲ 5	▲ 173	▲ 168	－
資源*	418	47	▲ 370	▲ 88.7%
(内 石油開発)	(178)	(68)	(▲110)	(▲62.0%)
(内 石炭)	(240)	(▲20)	(▲260)	－
その他	15	▲ 57	▲ 72	－
セグメント合計 (在庫影響除き)	▲ 262 (631)	1,003 (928)	+1,265 (+297)	－ (+47.2%)

\*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

# セグメント別情報

## ■ 営業利益 + 持分法投資損益増減分析 (在庫影響除き、前年比)

[億円]

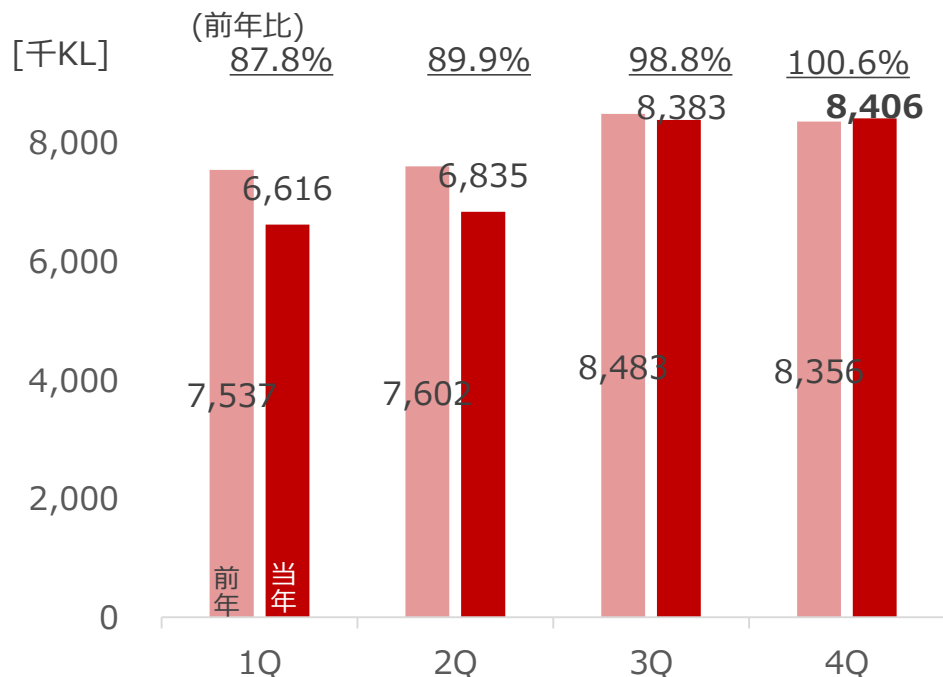




# セグメント別情報

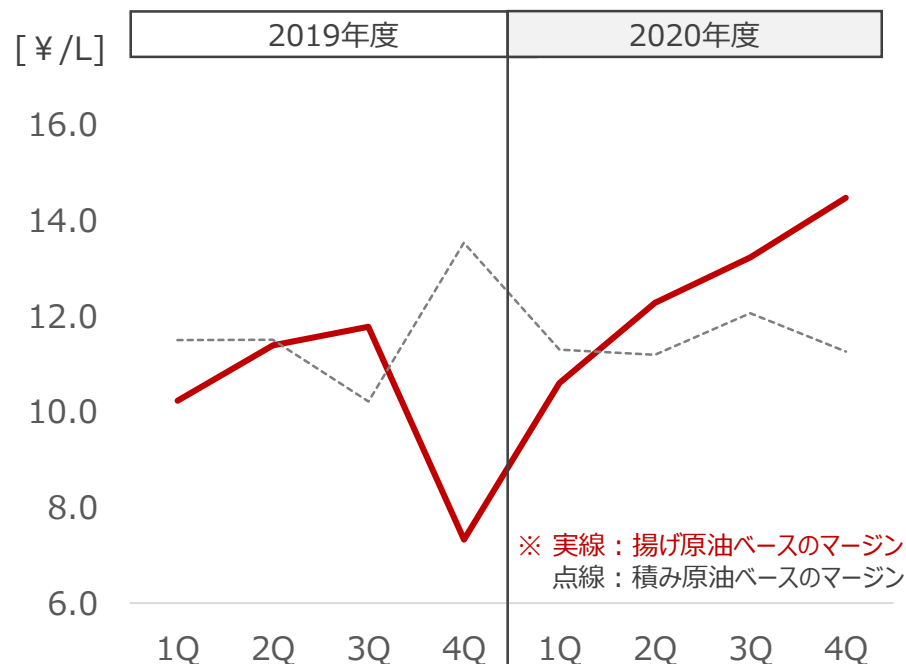
【燃料油】前年比+1,147億円 (2019年度：▲201億円 → 2021年度：947億円)

〈燃料油販売数量前年比(主燃料)〉



〈国内石油製品マージン\*推移〉

\*ガソリン・軽油・灯油・A重油の加重平均マージン(国内スポット-原油)



- ✓ 4Qの主燃料販売は、暖房需要およびコロナ影響の回復等から前年並の数量
- ✓ 製品マージンは、主に原油価格上昇に伴うタイムラグにより前年を上回る水準
- ✓ 上記に加え、主に統合シナジー、関係会社収益および自家燃コストの減少が、持分法投資損失、JET燃料の需要減等の影響を上回り前年比増益

# セグメント別情報

[基礎化学品] 前年比▲85億円 (2019年度：119億円 ➡ 2020年度：34億円)

✓ コロナ影響の需要低迷に伴うマージン縮小等により減益

[USD/トン]

製品	19年度		20年度		増減	
	製品価格	マージン	製品価格	マージン	製品価格	マージン
PX	807	303	592	183	▲215	▲120
MX	672	169	491	82	▲181	▲87
SM	936	433	827	418	▲109	▲15

[高機能材] 前年比▲154億円 (2019年度：284億円 ➡ 2020年度：130億円)

✓ コロナ影響による潤滑油減販、PC市況低迷等により減益

[電力・再エネ] 前年比▲168億円 (2019年度：▲5億円 ➡ 2020年度：▲173億円)

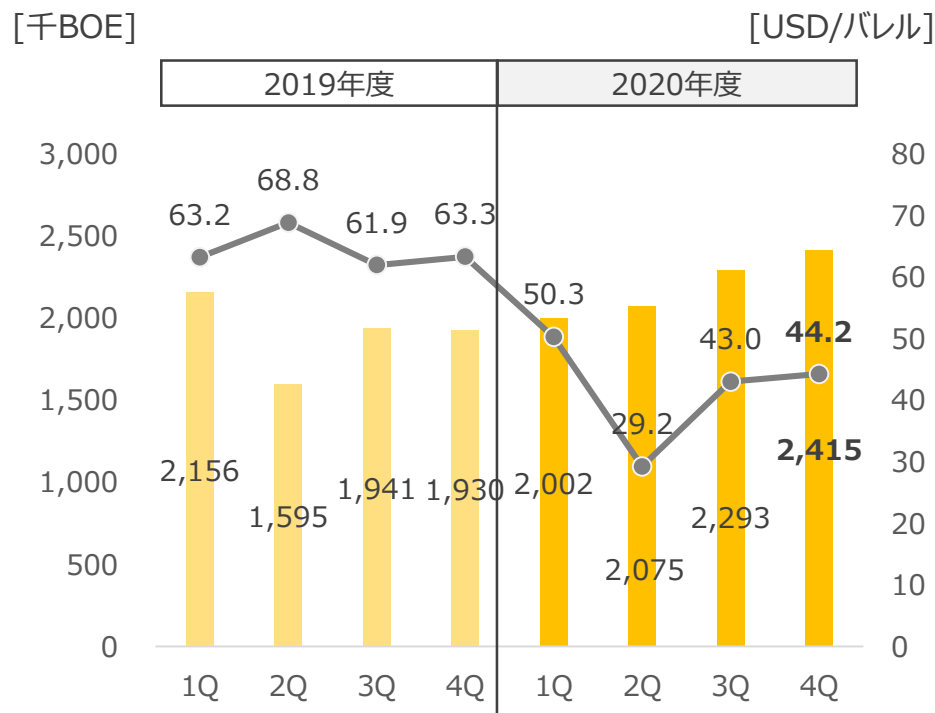
✓ 電力事業におけるJEPX市況高騰による調達コスト上昇に加え、ソーラー事業での数量減、単価下落により前年比減益

# セグメント別情報

**[石油開発]** 前年比▲110億円

(2019年度：178億円 → 2020年度：68億円)

〈原油生産数量・ブレント原油価格推移〉

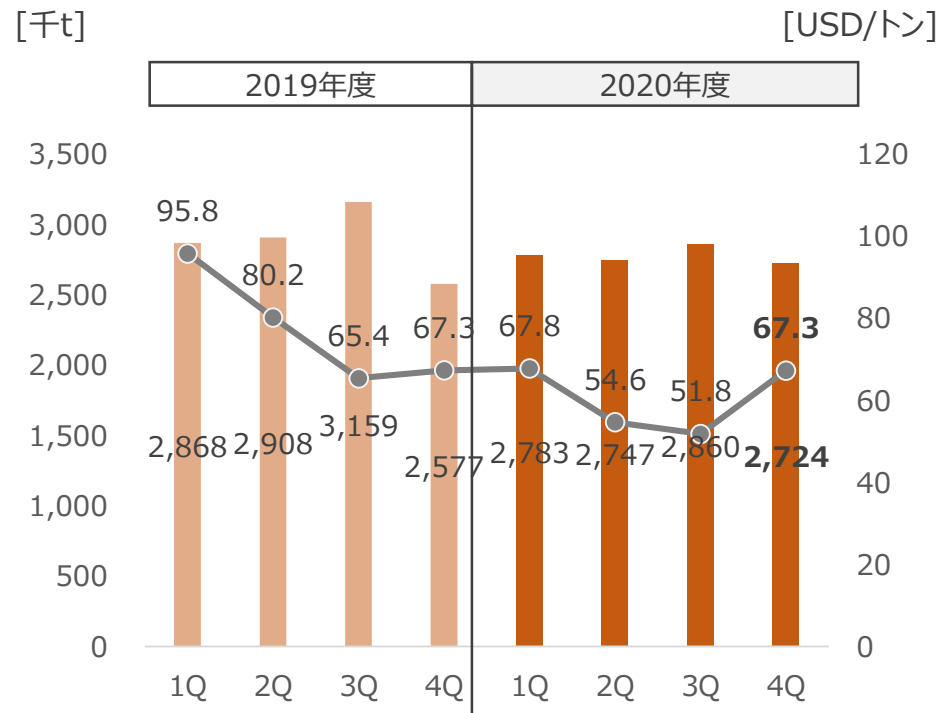


✓ 数量増加を原油価格下落の影響が上回り減益

**[石炭]** 前年比▲260億円

(2019年度：240億円 → 2020年度：▲20億円)

〈石炭生産数量・豪州一般炭スポット価格推移〉



✓ 石炭市況下落による価格要因等により減益

# 財務状況

[億円]

	20/3末	21/3末	増減		20/3末	21/3末	増減
現金・預金	1,322	1,313	▲ 9	流動負債計	16,484	16,213	▲ 271
売掛債権 たな卸資産等	14,181	15,342	+1,161	固定負債計	10,380	11,180	+801
流動資産計	15,503	16,655	+1,152	負債合計	26,864	27,393	+529
有形固定資産	14,781	15,219	+438	株主資本 その他の包括利益累計	11,500	11,509	+9
その他固定資産	8,585	7,670	▲ 915	非支配株主持分	506	642	+137
固定資産計	23,366	22,889	▲ 477	純資産計	12,006	12,151	+146
総資産計	38,869	39,544	+675	負債・純資産計	38,869	39,544	+675

ネットD/Eレシオ	1.05	1.02	▲0.02
有利子負債計	13,363	13,089	▲274
自己資本比率	29.6%	29.1%	▲0.5%

# キャッシュフローの状況

[億円]

<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>1,705</b>
税引前当期純利益	646
減価償却費	982
運転資本の増減	▲ 387
その他	464
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>▲ 1,099</b>
有形固定資産の取得	▲ 1,211
その他	112
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>▲ 562</b>
借入金増減	▲ 153
配当金支払い	▲ 417
その他	7
現預金等に係る換算差額等	▲ 28
現預金等の増減額	16
<b>現預金等の期首残高</b>	<b>1,293</b>
<b>現預金等の期末残高</b>	<b>1,310</b>

# 2020年度の主なESGトピックス

## E（環境）

- MSCI ESGレーティング評価 「A」→「AA」を取得（2020年9月）
- CDP評価 「B」→「A-」を取得（2020年12月）
- 中期経営計画に基づくCO2削減量 初年度（2019年度）実績を公表  
▲130万t-CO2（2017年比）※削減活動：▲19万t-CO2/その他▲111万t-CO2

## S（社会）

- 「サステナブル調達ガイドライン」を策定し、調達先との対話を実施
- 「人権デューデリジェンス」の取り組みを開始し、人権リスクの所在特定を完了

## G（ガバナンス）

- 取締役候補者のスキルマトリックスを開示
- 代表取締役の業績連動賞与について、非財務成果の反映を決定

※取組み詳細 当社サステナビリティサイト



# トピックス（2021年度）

## ■ 新型コロナウイルス感染拡大による当社事業への主な影響

- ✓ 21年度は燃料油主要4品、JET燃料ともに需要回復を見込むものの、足元の感染者数増加を受け需要動向は注視が必要

[%]

	20年度	21年度 上期見通し	21年度 下期見通し	21年度 見通し
主要4品	94.6	104.2	99.2	<b>101.7</b>
JET燃料	54.2	148.5	141.5	<b>145.0</b>

※当社販売伸長率(前年比)

- ✓ 基礎化学品製品や高機能材の需要回復、資源価格上昇など21年度は各セグメントでコロナ影響からの一定のリカバリーを想定

## ■ ベトナム ニソン製油所の見通し

- ✓ 引続き高稼働を見込む
- ✓ 海外製品市況は依然厳しいものの足下は改善が見られ、前年度の在庫影響の反動などもあり、収益は改善の見通し
- ✓ 加えて、2020年度の長期貸付金評価損181億円と、21年度の持分法投資損失が相殺処理されることも増益に寄与

# 業績見通し概要

## ■ 原油、石炭価格および為替レート

[USD/バレル、USD/トン、円/USD]

	20年度	21年度	増減	
ドバイ原油価格	44.5	60.0	+15.5	+34.8%
ブレント原油価格*	41.7	61.0	+19.3	+46.4%
豪州一般炭スポット価格*	60.4	80.0	+19.6	+32.5%
為替レート	106.1	105.0	▲ 1.1	▲ 1.0%

\*ブレント原油価格及び豪州一般炭価格は1-12月平均

## ■ 連結損益計算書ハイライト

[億円]

	20年度	21年度	増減	
売上高	45,566	56,800	+11,234	+24.7%
営業利益	1,401	1,350	▲ 51	▲ 3.6%
(内 在庫評価損益)	(75)	(0)	(▲75)	▲ 100.0%
持分法投資損益	▲ 398	50	+448	—
<b>営業+持分</b>	<b>1,003</b>	<b>1,400</b>	<b>+397</b>	<b>+39.6%</b>
<b>(在庫影響除き)</b>	<b>(928)</b>	<b>(1,400)</b>	<b>(+472)</b>	<b>+50.8%</b>
経常利益	1,084	1,400	+316	+29.2%
特別損益	▲ 438	▲ 20	+418	—
<b>当期純利益</b>	<b>349</b>	<b>850</b>	<b>+501</b>	<b>+143.4%</b>
<b>(在庫影響除き)</b>	<b>(297)</b>	<b>(850)</b>	<b>(+553)</b>	<b>(+185.7%)</b>



# セグメント別情報

## ■ 営業利益 + 持分法投資損益

[億円]

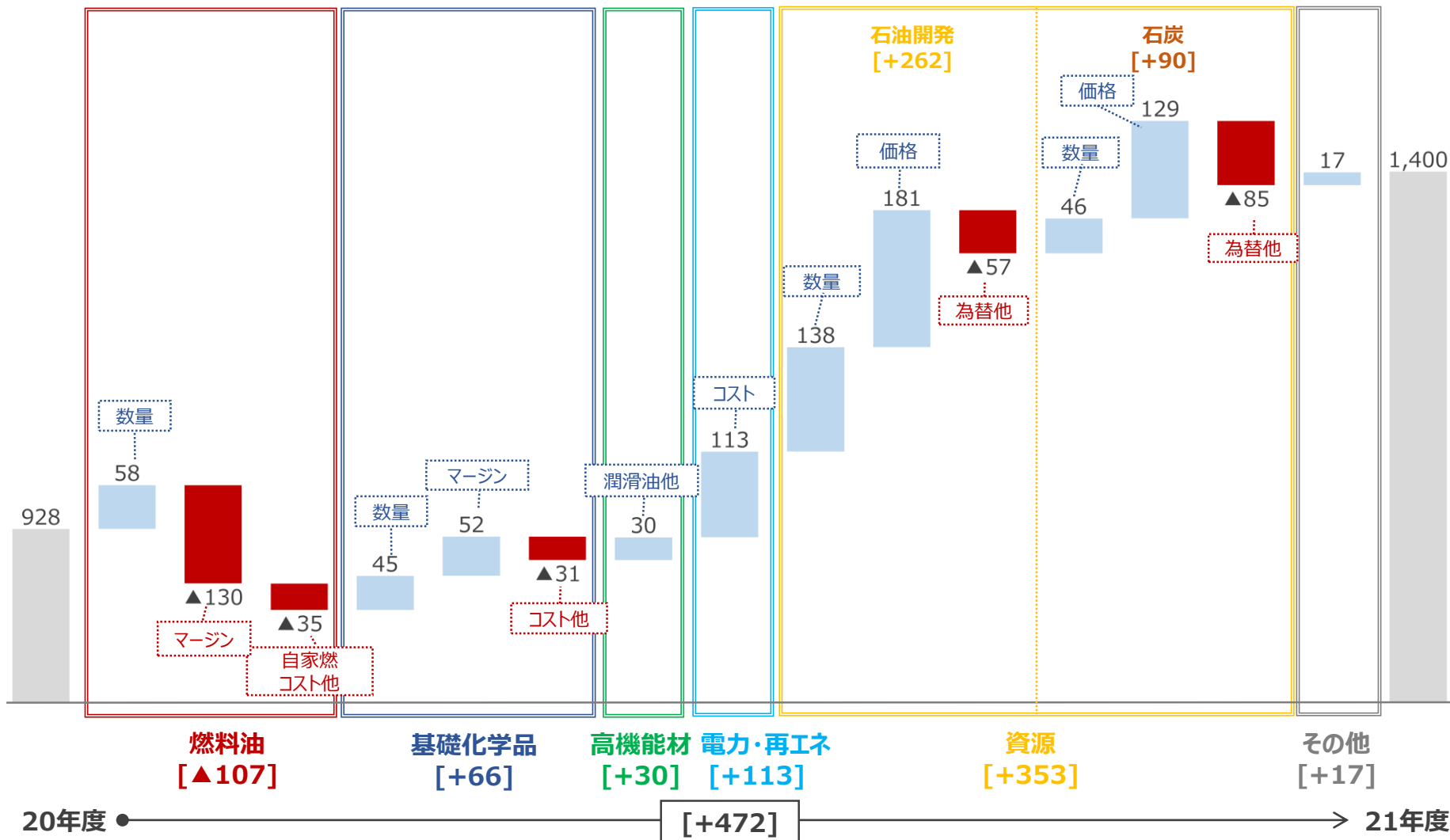
	20年度	21年度	増減	
燃料油	1,021	840	▲ 181	▲ 17.7%
(在庫影響除き)	(947)	(840)	(▲ 107)	▲ 11.3%
基礎化学品	34	100	+66	+193.9%
高機能材	130	160	+30	+23.1%
電力・再生可能エネルギー	▲ 173	▲ 60	+113	—
資源*	47	400	+353	+745.7%
(内 石油開発)	(68)	(330)	(+262)	+388.7%
(内 石炭)	(▲ 20)	(70)	(+90)	—
その他	▲ 57	▲ 40	+17	—
セグメント合計	1,003	1,400	+397	+39.6%
(在庫影響除き)	(928)	(1,400)	(+472)	+50.8%

\*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

# セグメント別情報

## ■ 営業利益 + 持分法投資損益増減分析 (在庫影響除き、前年比)

[億円]



## セグメント別情報

[燃料油] 前年比▲107億円 (2020年度：947億円 ➡ 2021年度：840億円)

- ✓ 主燃料の販売数量はコロナ影響からの需要回復を見込む
- ✓ 製品マージンは前年度のタイムラグ解消により縮小の見通し
- ✓ 統合シナジーやNSRPによる増益の一方、自家燃コスト・SDM等の影響から減益

[基礎化学品] 前年比+66億円 (2020年度：34億円 ➡ 2021年度：100億円)

- ✓ パラキシレンなどの製品マージン拡大により増益の見通し

[USD/トン]

製品	20年度		21年度		増減	
	製品価格	マージン	製品価格	マージン	製品価格	マージン
PX	592	183	800	250	+208	+67
MX	491	82	680	130	+189	+48
SM	827	418	910	350	▲83	▲68

[高機能材] 前年比+30億円 (2020年度：130億円 ➡ 2021年度：160億円)

- ✓ 主に潤滑油事業における自動車向け数量回復により増益を見込む

## セグメント別情報

[電力・再エネ]前年比+113億円 (2020年度：▲173億円 ➡ 2021年度：▲60億円)

- ✓ 電力事業は20年度4Qに発生したJEPX市況高騰影響からの回復を織込み、対前年度増益を見込む

[石油開発]前年比+262億円 (2020年度：68億円 ➡ 2021年度：330億円)

- ✓ 数量はベトナムガス田の生産増に加え、前年度の期ズレの解消から前年比で増加
- ✓ ブレント原油前提価格の上昇により価格要因で増益

[石炭]前年比+90億円 (2020年度：▲20億円 ➡ 2021年度：70億円)

- ✓ 生産数量は、前年度の天候要因による減少の反動等からの回復を見込む
- ✓ 豪州一般炭の前提は前年比約20\$/トンの上昇の一方、豪ドル高により増益影響が一部相殺

# 投資の状況（20年度投資実績、21年度見通し）

[億円]

	20年度			21年度		
	戦略	維持更新	合計	戦略	維持更新	合計
燃料油 基礎化学品	100	440	540	90	820	910
電力・再エネ 高機能材・その他	210	210	420	280	190	470
資源	390	150	540	380	170	550
<b>合計</b>	<b>700</b>	<b>800</b>	<b>1,500</b>	<b>750</b>	<b>1,180</b>	<b>1,930</b>

減価償却費  
(含むのれん償却費)

1,078

1,250

# 財務状況（2021年度バランスシート、キャッシュバランス）

[億円]

[億円]

	22/3末		22/3末
流動資産	16,400	負債	27,400
固定資産	23,600	純資産	12,600
総資産	40,000	負債・純資産	40,000

ネットD/Eレシオ	0.98
有利子負債計	13,100
自己資本比率	30.0%
ROIC	3%

<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>2,500</b>
当期純利益	850
減価償却費他	1,250
その他	400
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>▲2,150</b>
戦略投資	▲750
操業維持投資	▲1,180
その他	▲220
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>▲370</b>
株主還元	▲360
その他	▲10
<b>キャッシュバランス</b>	<b>▲20</b>

- ✓ 21年度は製油所定修が重なり、操業維持投資が高水準
- ✓ 単年度のキャッシュバランスは前年並
- ✓ 2020年～2022年3か年累計では、資産売却や維持更新投資の厳選に取り組み、フリーキャッシュ確保に努める

---

## 参考資料

# セグメント概要

2021年3月末時点データ

## ■ 燃料油

- 原油処理能力 **94.5万バレル /日** \*1)
- 国内燃料油販売量 **3,400万KL /年**\*2)
- SS数 **6,300カ所**

## ■ 基礎化学品

(生産能力)

- エチレン **100万t /年**
- パラキシレン **142万t /年** \*3)
- スチレンモノマー **79万t /年**

## ■ 電力・再生可能エネルギー

- 発電能力 **1.4GW**  
- うち 再生可能エネルギー **0.5GW**
- 太陽電池生産能力 **1GW /年**

## ■ 高機能材

潤滑油、機能化学品、電子材料、  
高機能アスファルト、アグリバイオ、固体電解質

- 潤滑油販売量 **110万KL /年** \*4)

(生産能力)

- エンジニアリングプラスチック **15万t /年**
- 粘接着基材 **7.5万t /年**
- 有機EL材料 **22t /年**

## ■ 資源

- 原油生産量 **2.4万バレル /日**
- 一般炭生産量 **1,100万t /年**

\*1) 石油製品取引契約を締結する富士石油株式会社の原油処理能力を加えると109万バレル/日

\*2) ジェット燃料及びC重油に含めていたボンド輸出数量は輸出燃料油に含めての表示に変更

\*3) ミックスキシレンの生産能力を含む数値

\*4) シェルブルイカンツジャパン株式会社の販売量を除いた数値



# 決算関連

## ■ セグメント別売上高

[億円]

	19年度	20年度	増減	
燃料油	48,210	35,934	▲ 12,276	▲ 25.5%
基礎化学品	4,592	3,290	▲ 1,302	▲ 28.3%
高機能材	3,938	3,326	▲ 612	▲ 15.6%
電力・再生可能エネルギー	1,277	1,237	▲ 40	▲ 3.1%
資源*	2,418	1,720	▲ 698	▲ 28.9%
(内 石油開発)	(489)	(329)	(▲159)	(▲32.6%)
(内 石炭)	(1,929)	(1,390)	(▲539)	(▲27.9%)
その他	23	59	+36	+154.3%
セグメント合計	60,459	45,566	▲ 14,892	▲ 24.6%

\*資源に含まれる石油開発及び石炭は12月決算

# 決算関連

## ■ セグメント利益四半期推移（累計・在庫影響除き）

[億円]

	19年度 1Q	19年度2Q	19年度3Q	19年度	20年度 1Q	20年度2Q	20年度3Q	20年度
燃料油セグメント	35	154	261	▲ 201	▲ 94	273	649	947
持分法投資損益	▲ 27	▲ 149	▲ 260	▲ 327	▲ 272	▲ 288	▲ 372	▲ 411
基礎化学品セグメント	59	143	180	119	1	▲ 20	▲ 10	34
持分法投資損益	4	9	11	16	3	4	7	4
高機能材セグメント	64	137	202	284	48	62	95	130
持分法投資損益	4	8	12	19	1	▲ 3	▲ 1	8
電力・再生可能エネルギーセグメント	8	4	▲ 5	▲ 5	1	▲ 5	▲ 17	▲ 173
持分法投資損益	0	▲ 0	3	6	▲ 1	▲ 2	▲ 1	▲ 1
資源セグメント								
-石油開発	67	86	122	178	22	25	52	68
持分法投資損益	-	-	-	-	-	-	-	-
-石炭	95	178	223	240	10	11	▲ 7	▲ 20
持分法投資損益	1	4	7	9	4	7	6	6
その他セグメント	▲ 18	▲ 6	▲ 15	15	▲ 19	▲ 21	▲ 35	▲ 57
持分法投資損益	6	13	19	54	▲ 4	▲ 0	1	▲ 4
<b>セグメント合計</b>	<b>311</b>	<b>697</b>	<b>967</b>	<b>631</b>	<b>▲ 31</b>	<b>326</b>	<b>727</b>	<b>928</b>
<b>持分法投資損益</b>	<b>▲ 13</b>	<b>▲ 116</b>	<b>▲ 207</b>	<b>▲ 224</b>	<b>▲ 267</b>	<b>▲ 283</b>	<b>▲ 360</b>	<b>▲ 398</b>

# 販売数量実績

## ■ 燃料油セグメント

[千KL,%]

	19年度	20年度	増減	
ガソリン	14,119	12,764	▲ 1,355	▲ 9.6%
ナフサ	265	305	+40	+15.0%
ジェット燃料	2,531	1,372	▲ 1,159	▲ 45.8%
灯油	3,940	4,287	+347	+8.8%
軽油	10,585	9,872	▲ 713	▲ 6.7%
A重油	3,335	3,316	▲ 19	▲ 0.6%
C重油	2,304	2,128	▲ 176	▲ 7.6%
<b>国内燃料油販売計</b>	<b>37,079</b>	<b>34,045</b>	<b>▲ 3,034</b>	<b>▲ 8.2%</b>
輸出燃料油	7,286	4,990	▲ 2,296	▲ 31.5%
<b>燃料油販売計</b>	<b>44,365</b>	<b>39,035</b>	<b>▲ 5,330</b>	<b>▲ 12.0%</b>

※ジェット燃料及びC重油に含めていたボンド輸出数量は輸出燃料油に含めて表示することに変更しました

# 販売数量実績

## ■ 基礎化学品セグメント

[千t,%]

	19年度	20年度	増減	
基礎化学品	4,065	3,607	▲ 458	▲ 11.3%

## ■ 高機能材セグメント

[千KL,千t,%]

	19年度	20年度	増減	
潤滑油	1,192	1,089	▲ 103	▲ 8.7%
機能化学品	620	628	+8	+1.3%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む

※潤滑油販売量はシェルルブリカンツジャパン株式会社の販売量を除く

## ■ 電力・再生可能エネルギーセグメント

[百万kwh,%]

	19年度	20年度	増減	
電力小売販売量	2,903	3,789	+886	+30.5%

# 生産数量実績

## ■ 資源セグメント (石油開発生産量)

[千BOED,%]

	19年度	20年度	増減	
ルウェー	20.9	23.1	+2.2	+10.5%
ベトナム	0.0	0.9	+0.9	—
生産量合計 (千BOED)	20.9	24.0	+3.1	+14.7%
生産量合計 (千BOE)	7,622	8,785	+1,163	+15.3%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

## ■ 資源セグメント (石炭生産量)

[千t,%]

	19年度	20年度	増減	
エンシャム	4,144	3,853	▲ 292	▲ 7.0%
マッセルブルック	1,177	985	▲ 192	▲ 16.3%
ボガブライ	4,935	5,074	+138	+2.8%
<b>豪州石炭 合計</b>	<b>10,256</b>	<b>9,911</b>	<b>▲ 345</b>	<b>▲ 3.4%</b>
マリナウ	1,256	1,203	▲ 53	▲ 4.2%
<b>生産量 合計</b>	<b>11,513</b>	<b>11,115</b>	<b>▲ 397</b>	<b>▲ 3.5%</b>

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

# 販売数量見通し

## ■ 燃料油セグメント

[千KL,%]

	20年度	21年度	増減	
ガソリン	12,764	13,230	+466	+3.6%
ナフサ	305	100	▲ 205	▲ 67.2%
ジェット燃料	1,372	1,990	+618	+45.0%
灯油	4,287	4,050	▲ 237	▲ 5.5%
軽油	9,872	10,210	+338	+3.4%
A重油	3,316	3,250	▲ 66	▲ 2.0%
C重油	2,128	2,110	▲ 18	▲ 0.8%
<b>国内燃料油販売計</b>	<b>34,045</b>	<b>34,940</b>	<b>+895</b>	<b>+2.6%</b>
輸出燃料油	4,990	6,690	+1,700	+34.1%
<b>燃料油販売計</b>	<b>39,035</b>	<b>41,630</b>	<b>+2,595</b>	<b>+6.6%</b>

※ジェット燃料及びC重油に含めていたボンド輸出数量は輸出燃料油に含めて表示することに変更しました

# 販売数量見通し

## ■ 基礎化学品セグメント

[千t,%]

	20年度	21年度	増減	
基礎化学品	3,607	4,090	+483	+13.4%

## ■ 高機能材セグメント

[千KL,千t,%]

	20年度	21年度	増減	
潤滑油	1,089	1,240	+151	+13.9%
機能化学品	628	770	+142	+22.6%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む

※潤滑油販売量はシェルルブリカンツジャパン株式会社の販売量を除く

## ■ 電力・再生可能エネルギーセグメント

[百万kwh,%]

	20年度	21年度	増減	
電力小売販売量	3,789	4,240	+451	+11.9%

# 生産数量見通し

## ■ 資源セグメント (石油開発生産量)

[千BOED,%]

	20年度	21年度	増減	
ノルウェー	23.1	25.1	+2.0	+8.4%
ベトナム	0.9	14.5	+13.6	+1,563.2%
生産量合計 (千BOED)	24.0	39.5	+15.6	+64.9%
生産量合計 (千BOE)	8,785	14,430	+5,645	+64.2%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

## ■ 資源セグメント (石炭生産量)

[千t,%]

	20年度	21年度	増減	
エンシャム	3,853	4,570	+717	+18.6%
マッセルブルック	985	1,210	+225	+22.8%
ボガブライ	5,074	5,600	+526	+10.4%
<b>豪州石炭 合計</b>	<b>9,911</b>	<b>11,380</b>	<b>+1,468</b>	<b>+14.8%</b>
マリナウ	1,203	1,050	▲ 153	▲ 12.7%
<b>生産量 合計</b>	<b>11,115</b>	<b>12,430</b>	<b>+1,315</b>	<b>+11.8%</b>

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算



# 感応度

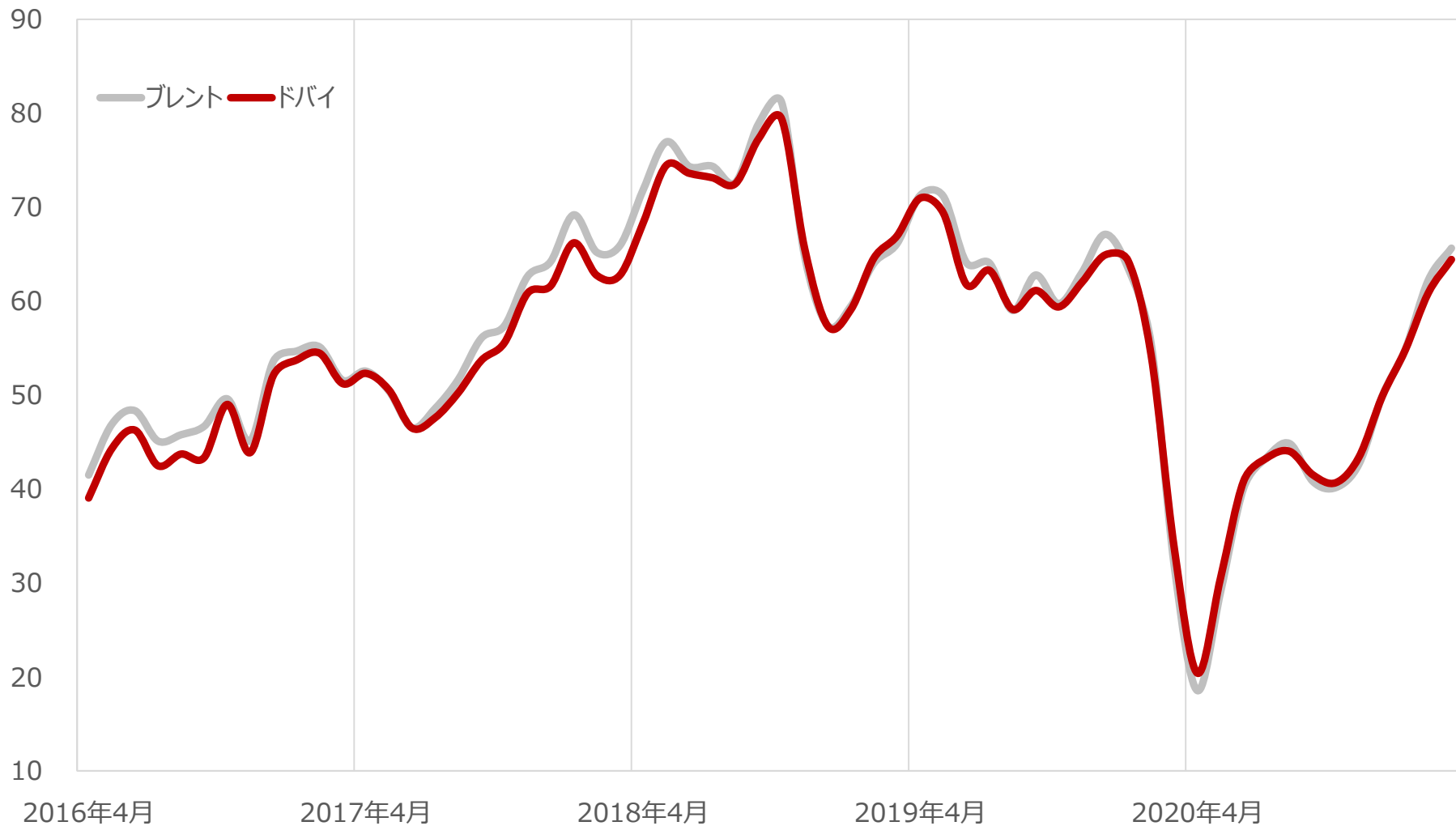
## ■ 原油価格、為替の変動による収支影響(年間)

項目	変動幅	感応度
原油	1 \$/バレル下落	燃料油 ▲40億円 (精製用燃料費 +10億円) (在庫評価影響 ▲50億円)
		石油開発 ▲10億円
為替	1 円/\$円高	燃料油 ▲25億円 (精製用燃料費 +5億円) (在庫評価影響 ▲30億円)
		基礎化学品 ▲5億円

※上記の他に、資源事業において、ノルウェークローネ・豪ドルの為替変動影響を受けます

# 原油価格（ドバイ原油・ブレント原油）

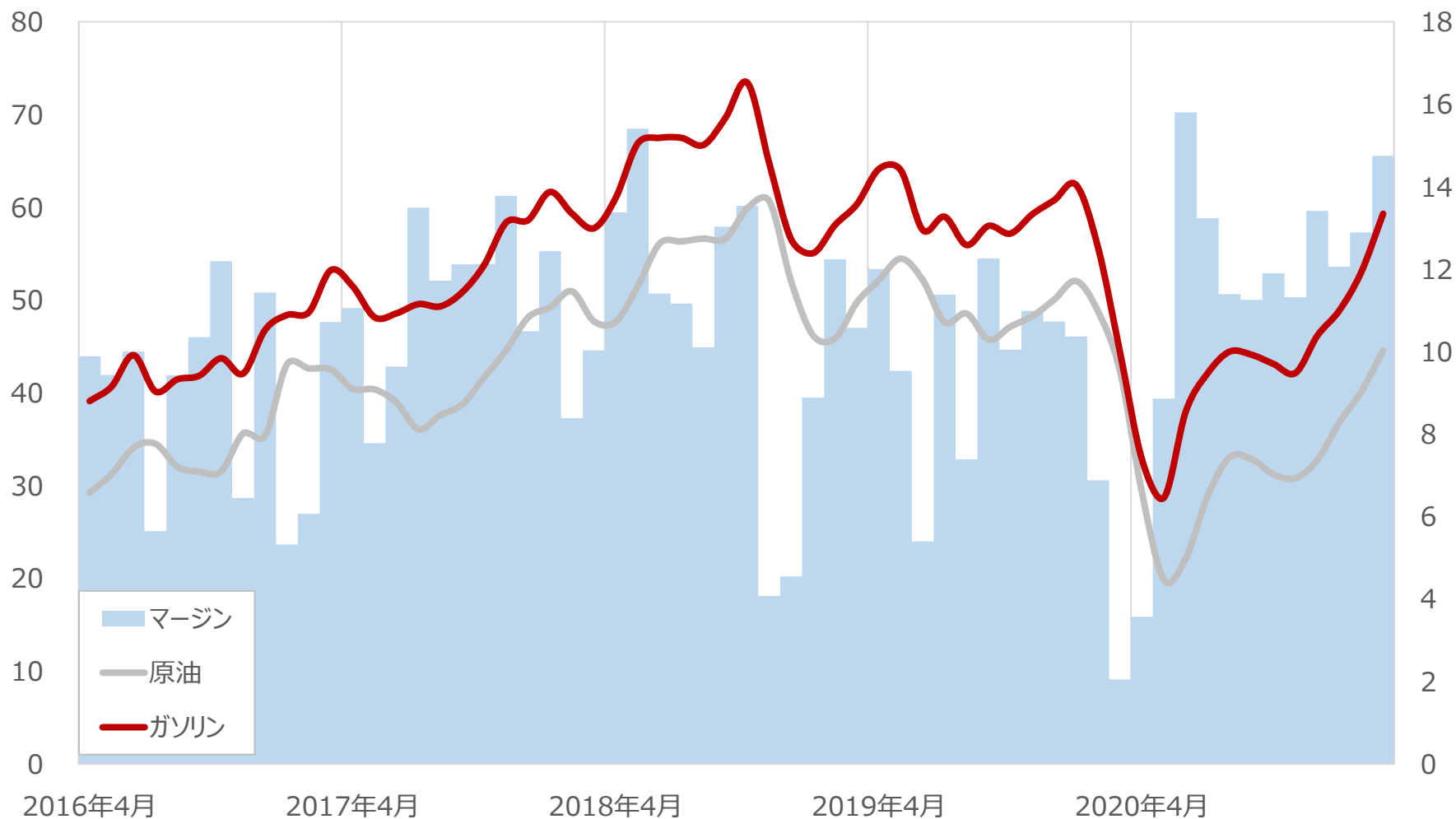
[USD/バレル]



# ガソリン（国内スポット価格 - 原油）

[原油・製品：円/リットル]

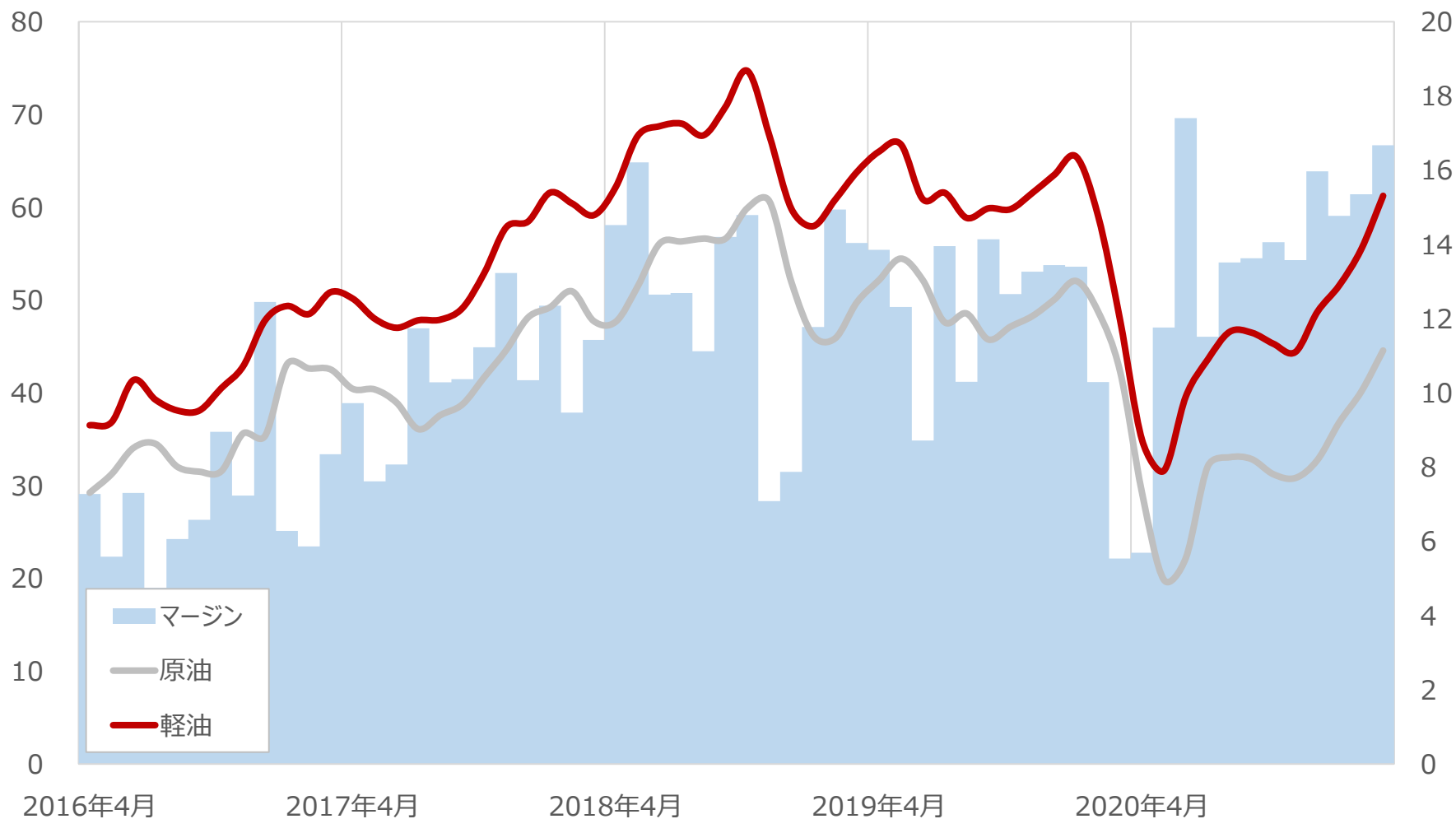
[マージン：円/リットル]



# 軽油（国内スポット価格 - 原油）

[原油・製品：円/リットル]

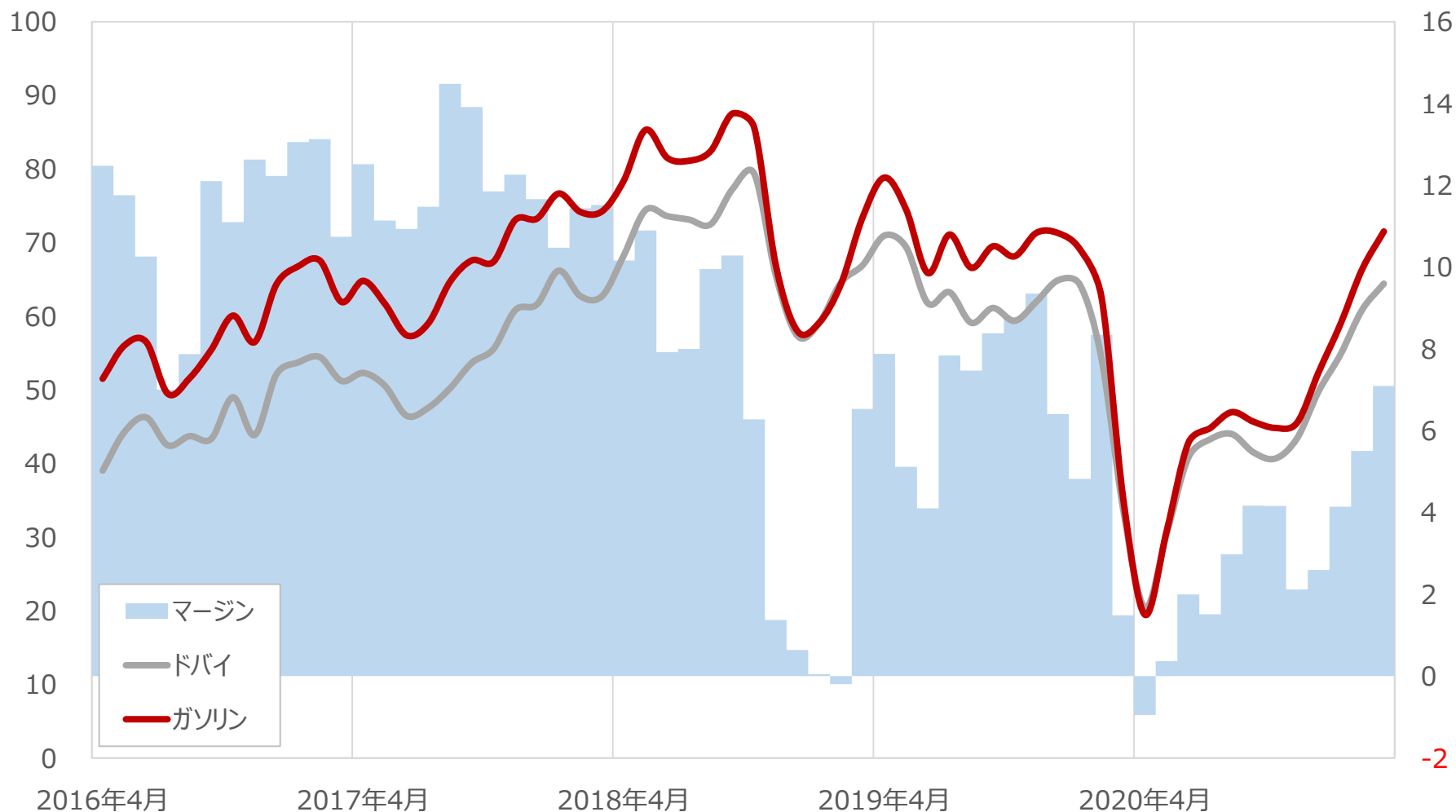
[マージン：円/リットル]



# ガソリン（シンガポールスポット価格 - ドバイ原油）

[原油・製品：USD/バレル]

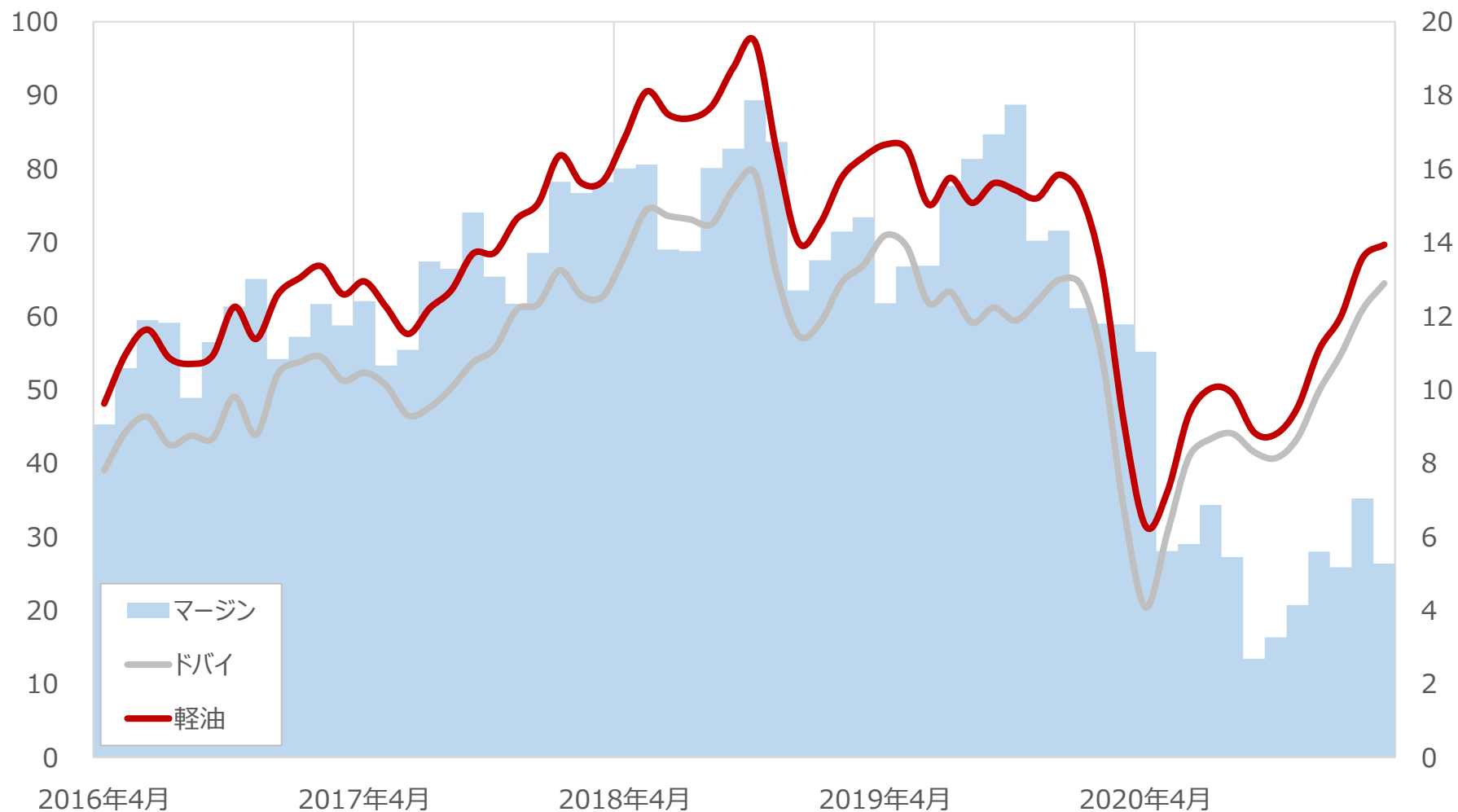
[マージン：USD/バレル]



# 軽油（シンガポールスポット価格 - ドバイ原油）

[原油・製品：USD/バレル]

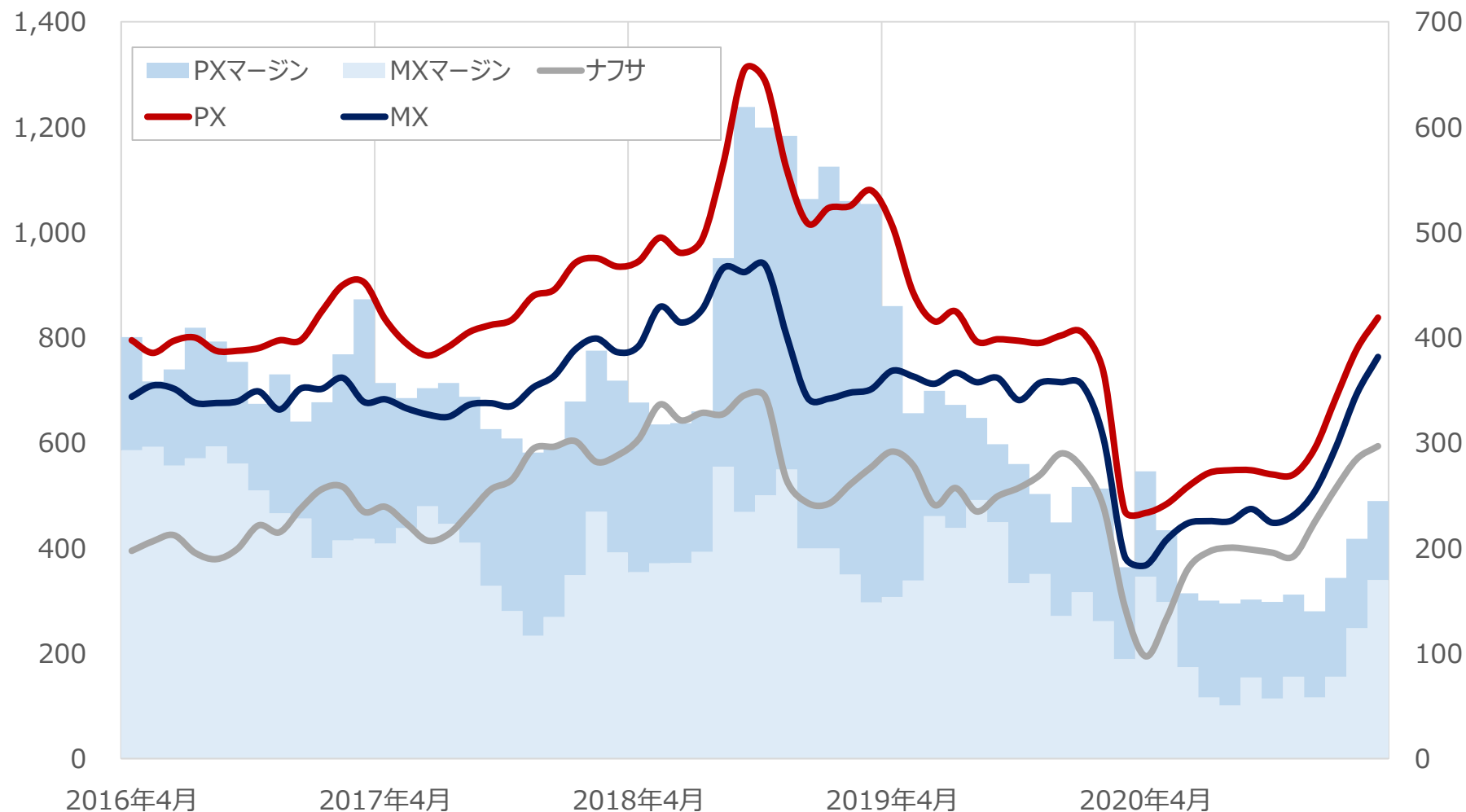
[マージン：USD/バレル]



# パラキシレン・ミックスキシレン - ナフサ

[ナフサ・製品 : USD/トン]

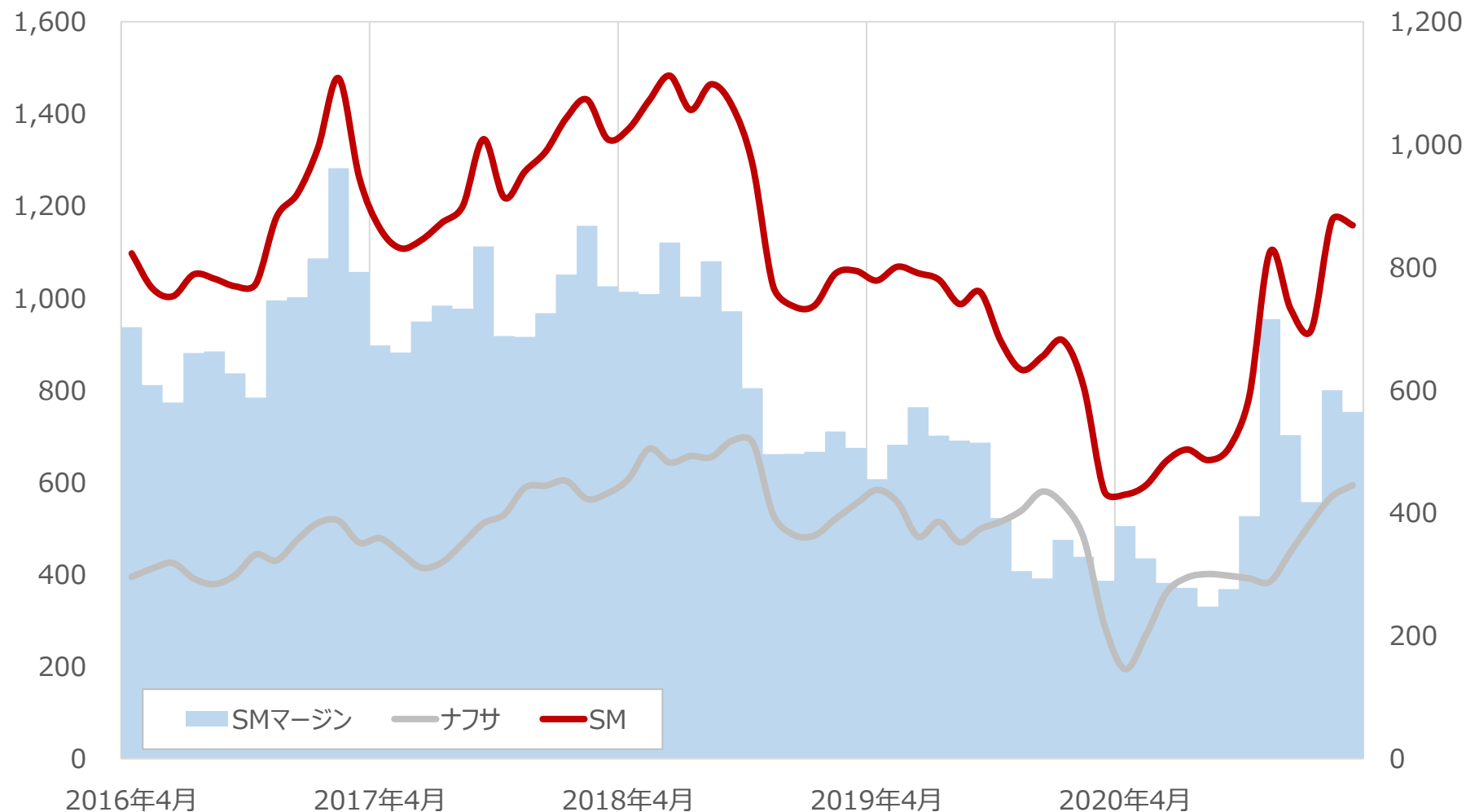
[マージン : USD/トン]



# スチレンモノマー – ナフサ

[ナフサ・製品 : USD/トン]

[マージン : USD/トン]





# オペレーショナルデータ

## ■ 製油所稼働率

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
出光興産	88%	88%	88%	87%	78%
旧昭和シェル	85%	88%	93%		

※稼働率はBCDベース

## ■ SS数

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
出光興産	3,589	3,545	3,501	3,446	3,426
旧昭和シェル	3,123	3,028	2,964	2,938	2,885
合計	6,712	6,573	6,465	6,384	6,311

## 見通しに関する注意事項

---

本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的风险や不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。